

○社会の要請【北区教育大綱】
「地域社会の一員としての自覚のもと、自らの力で人生を切り拓き広く社会に貢献できる心身ともに健康で文化的な資質をもつ児童を育成する」
・確かな学力
・豊かな人間性
・健康や体力
・自ら学び、考え、行動する力の育成

基本理念

- 全ての教育活動は、子供のためにある。
- 全ての教育活動には意味があり、ねらいがある。
- 全ての教育活動は、人として自立し生活を豊かにする人生の基礎・基本を育む。

○児童の実態
・自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりする学習が好き 77%。
・自分の考えを分かりやすく伝えようとする意識が高まっている。
・新聞の記事や物語文を読むことに慣れ親しんでいるが、読解力・表現力の個人差が大きい。
・あいさつができる児童が多い。
・上学年に下学年を思いやる態度が身に付いている。

目指す学校像

笑顔とあいさつのあふれる学校

- 子供が、明日また来るのが楽しい学校
- 保護者が、子供を通わせるのが安心な学校
- 地域が、誇らしく支援したくなる学校

目指す子供像（教育目標）

未来を生き抜く資質・能力を育む子供

- よく考える子【知】 すすんで表現し高め合う子
- 思いやりのある子【徳】
自分も相手(友達)も大切にして認め合い協力する子
- たくましく生きる子【体】
心と体が健康で、粘り強く取り組む子

目指す教師像

教育のプロとしての使命感・専門性をもつ教師

- 誠実で細やかな対応で信頼される教師
- 授業で勝負し子供に学ぶ楽しさを味わわせる教師
- 教師力向上の意欲をもち、絶えず学び続ける教師
- 豊かな人間性と協調性をもち、協働する教師

卒業までに身に付けさせたい「未来を生き抜くための資質」

【い】いいあいさつ いい返事『規範意識』【わ】わたしもあなたも大切『人権感覚』【ぶ】ふれ合い 伝え合い 仲よく『協力・協働』【ち】力いっぱいチャレンジ『自己肯定感、自主・自立』

目標達成のための具体的な手だて

◎は重点項目

※新型コロナウイルス感染症対策により、当初の計画・予定を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1. 確かな学力の育成

【知】すすんで表現し高め合う子の育成

- ◎学習規律の徹底
・「岩小 学習しぐさ」の共通指導
- ねらい・見通し・振り返りを明確にした授業づくり
・ミニホワイトボードの活用
・全校で共通したノート指導
- 合理的配慮に基づいた特別支援教育
・壁面・黒板等のユニバーサルデザイン化
・ニコピールームとの連携
- ◎読み取り、考え、伝え合う力の育成を目指した授業改善の推進
・児童の実態、各種学力調査の結果分析
・授業改善推進プランの作成と検証
・校内研究（国語科）での検証授業を行い、読み取り、考えを伝え合う力を育成
- ◎語彙を増やし豊かな表現力を育てる言語活動の充実
・各種コンクールへの参加推奨
・N I E 教育の推進・朝の校長メッセージ（新聞記事から）
・読書活動 ・全校で俳句づくり
- ◎基本的学習内容の定着 8 5 %
・漢字・計算・九九等、家庭学習を含め反復学習の習慣化、漢字検定・英語検定の推奨(6 年)
- 外国語活動の授業改善
- ◎G I G A スクール構想の具現化
・「きたコン」(学習用 PC)の有効活用
・プログラミング学習の推進
・デジタル教材の授業・宿題での活用
- 「岩淵小スタートカリキュラム」の実施

4. 環境教育・日本の伝統文化教育の充実
～東京五輪のレガシー～

- ◎荒川フィールド学習(全学年)
・荒川知水資料館・「水辺の会」の皆様と連携した、北区「こどもの水辺」での体験を通して、環境・防災について考える学習を計画します。
1 年：土手であそぼう・草花や虫となかよし
2 年：そだてよう あそぼう 荒川のいきもの
3 年：さがして 育てよう 春の虫・秋の虫
4 年：冬だって荒川(かいぼり体験・野鳥観察)
5 年：荒川プロジェクトⅠ(水害への備え)
6 年：荒川プロジェクトⅡ(荒川と私たちの暮らし)
- ◎日本の伝統文化への理解
・切り絵(芸能)教室
・俳句コンクール等への参加推奨
・箏曲教室・書道教室等、日本の伝統文化への興味・関心を高める出前授業の実施

2. 命と人権を守る心の教育

【徳】自分も相手(友達)も大切にして
認め合い協する子の育成

- ◎人権感覚の醸成「わたしもあなたも大切」
・いじめアンケート等で早期発見、未然防止
・毎月末にいじめ防止委員会
- ◎思いやり、譲り合い、助け合いのできる人間関係づくり「ふれ合い 伝え合い 仲よく」
・縦割り班活動
・年 2 回の Q U テストの結果分析・校内共有
- ◎あいさつ・返事・言葉づかいの指導の充実
「いいあいさつ いい返事」
・あいさつ運動・「先言後礼」、場に応じた話し方指導
- 特別の教科 道徳 の授業改善
- ◎学期に 1 回のスクールカウンセラーとの連携学習
・ソーシャルスキルトレーニング
・アサーション・アンガーマネジメント等
・S O S の出し方に関する教育
・いじめ防止に関する教育

5. 教育環境の整備・充実

安心・安全な環境づくり

- ◎規範意識の形成
・「岩淵小よい子の一日」を基に、安全に気持ちよく生活するため、ルール順守の大切さを理解させるとともに、自らすすんできまりを守る態度を育成。
- ◎新型コロナウイルス感染症対策の徹底
・感染状況や学年行事前には、空き教室を利用して分散給食を実施
- ◎命を守る、避難訓練・総合防災訓練
・青少年赤十字 災害学習プログラム活用した総合防災訓練(9 月)や高台避難訓練(6 月)
・自分や人の命と健康を大切にする心を育む。
- セーフティ教室
・発達段階に合わせた系統的な指導
・地域・保護者とともに学ぶ機会の創出
- 登校班指導の充実
・緊急時にもあわてない心構えづくり
・P T A との連携
- 「地域安全マップ」の作成
・地域・警察等関係機関との連携
- 不審者対応マニュアルの徹底
・P T A と連携した公開時の安全確保

3. 体力向上・食育の推進

【体】心と体が健康で、
粘り強く取り組む子の育成

- ◎全校での体力強化チャレンジ
「力いっぱい チャレンジ」
・なわとびタイム
・マラソンタイム
・岩小持久走記録会
・長縄チャレンジ 等
- ◎よい姿勢の習慣化
・委員会児童から朝会等で呼びかけ
・1・5 校時はじめに全学級で姿勢タイムの徹底
- 食育の推進
・ブックメニュー給食
・家庭科とのコラボ献立
- ◎がんに関する教育(5・6 年・保護者)
・「いのちの授業」(道徳授業地区公開講座)
講師 笠井 信輔氏(フリーアナウンサー)
がん治療の経験を通した「命の大切さ」「諦めない心」について、講演と懇談会を予定
- 薬物乱用防止教室の実施(6 年)

6. 開かれた学校【創立 8 5 周年】

保護者・P T A・地域・関係機関との連携

- ◎創立 8 5 周年記念行事
・創立 8 5 周年記念 運動会・展覧会
・子ども宇宙プロジェクト参加
・航空写真と全校児童写真の撮影
- サブファミリー校との連携推進
・赤羽岩淵中学校合同引き取り訓練(全学年)
・赤羽岩淵中学校 部活動・授業の体験(6 年)
・ファミリーの日(年 3 回)
赤岩中と隣接小学校 4 校の教員が相互に授業を公開・参観し授業改善
- 教育活動についての積極的な広報活動
・ホームページの公開
・学年だよりの充実
- スクールバンド
・創立 8 5 周年記念運動会で演奏できるように、5・6 年生が音楽の授業等で練習
・クラブ活動「スクールバンドクラブ」が 4 年生以上で令和 4 年度新設
- 読み聞かせボランティア
月に 1 回、火曜日に読み聞かせ
- 緑のボランティア
(令和 4 年度中に募集を検討しています。)
・地域・保護者と連携した栽培活動を通して、生命尊重や環境保全への意識を高める。

7. 働き方改革に向けた取組

- 目標退勤時刻を設定(2 0 時)
・タイムカードでの教員の出退勤時間の管理
- 夕方から翌朝までの電話自動音声対応

- 休暇の取得を促進
・年間 5 日以上の子休取得の奨励
・ノー残業デーの設定(月 2 回)

- 教員の学級事務負担を軽減
・学校徴収金の銀行引き落とし
・きたコンからの直接回答方式による学校アンケート